

## データ検索から見えるジオパークの認識

## Recognition of Geoparks Shown in Data Retrievals

\*中串 孝志<sup>1,2</sup>、小澤 友彦<sup>3</sup>、野津 直樹<sup>1,4</sup>

\*Takashi Nakakushi<sup>1,2</sup>, Tomohiko Ozawa<sup>3</sup>, Naoki Nozu<sup>1,4</sup>

1.和歌山大学観光学部、2.和歌山大学宇宙教育研究所、3.紀美野町立みさと天文台、4.株式会社ナビタイム  
ジャパン

1.Faculty of Tourism, Wakayama University, 2.Institute for Education on Space, Wakayama University,  
3.Misato Observatory, 4.NAVITIME JAPAN Co.,Ltd.

ジオパークは「事業」の性格を持つ。特にジオツーリズムを通じた観光産業による持続可能な地域振興が重要視されている。従って事業に対する客観的な分析が必要である。調査会社等との本格的なマーケティング・リサーチがなされた事例は見られず、研究者が単独で行う小規模なアンケート調査やヒアリング調査による研究がわずかに見られる程度である。

そこで我々は、客観的なデータを用いてジオパークがどのように社会に認知されているかを明らかにすることを目指している。今回の発表では、Twitter検索および新聞記事データベース検索を用いてジオパークの普及の度合いとその時間変化を可視化することを試みる。さらに、ジオパークに関連する人々の動きについての交通ビッグデータを用いた初期分析結果も報告したい。可能であればコーパス分析や新聞記事の形態素分析によってどのような文脈でジオパークが言及されるかについても考察する。

キーワード：ジオパーク、ジオツーリズム、ビッグデータ

Keywords: geopark, geotourism, big data